

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(飯田小)学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ・ 地域住民や保護者が行事等に参加する機会を少しずつ増やし、より多くの細かい事まで先生方と児童達の状況を把握して、学校教育目標の達成に向けて協力していく。
- ・ 教員だけでは対応しきれない課題を具体的に挙げていき、地域、家庭、学校で実際に協力ができる枠組みやシステムを考えて実行していく。
- ・ 学校支援のボランティアについて、実際に各方面へ働きかけたり、人材の発掘を行ったりし、できることから取り組んでいく。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・ 学校教育目標や最近の学校の様子について話を聞き、挨拶ができる子、安心安全な環境づくりについて重点的に熟議することができた。
- ・ 気持ちのよい挨拶が自主的に行える児童を育てることについて、具体的な説明を受けながら議論を進め、高学年の児童が積極的かつ自然に行うことで、低中学年の児童も挨拶をして、良い循環になることが理想であることを確認できた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・ 「笑顔があふれる環境で、明るく挨拶を交わす学校」という目指す学校像を受け、挨拶について熟議を進めた。その中で、校内で明るく挨拶ができるが、校外での挨拶は少ないという意見が多くあり、社会情勢等難しい面もあるが、地域の人が登下校時に声を掛けることが当たり前になるために必要なことについて議論した。
- ・ まずは、協議会の委員から自分の生活に即した方法で、子供たちを見守る機会を増やしていくことについて、確認することができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・ ホームページ等での情報発信はしているが、協議内容が広い範囲に渡って伝わっているとは感じられない。児童に関わる地域の活動やPTAと運営協議会との具体的な連携について考えていきたい。
- ・ 個人情報の取扱いに気をつけながら、協議結果の情報発信について考えていきたい。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- ・ コロナ後、まずは地域の大人たちから明るい笑顔、元気なあいさつを行い、子供たちにとって、地域に知っている顔がたくさんあること、安心して生活できることを定着させたい。
- ・ 実際にどのような活動ができるのか、具体的な内容や役割等考えるところまで進めていきたい。